

「鵜飼」をテーマとした学習活動

1 ねらい

岐阜の魅力のひとつとして長良川の鵜飼を取り上げ、自分が興味や関心をもったことを、実際に歴史博物館や鵜飼の見学を通して調べたり体験したりして、長良川の鵜飼のもつ魅力について考えることができる。

2 指導計画

総合的な学習の時間「長良川の鵜飼」全 35 時間

- 第 1～5 時 **準備** テーマ設定のための資料集めをする。
- 第 6・7 時 **テーマ・ゴールの設定** 全体のテーマとゴールを決める。
- 第 8 時 **計画** これからすべきことをイメージする。企画書作り。
- 第 9～23 時 **情報リサーチ**（本時 15 時間のうち 2 時間）テーマについて調べ情報を集める。
- 第 24～28 時 **制作** プレゼンテーションのための制作物を工夫して作る。
- 第 29・30 時 **プレゼンテーション** 調べた成果を分かりやすく提案する。
- 第 31～35 時 **再構築・成長エントリー** さらに自分でまとめをし、成長を確かめる。

見学の位置付け

「長良川の鵜飼」を題材に岐阜市教育委員会が推進するプロジェクト学習を進めていく際、まずはテーマとゴールを明らかにすることが大切となる。次のようなテーマ・ゴールも一つの案として考えられる。

テーマ

長い歴史と伝統をもつ長良川の鵜飼の魅力を再発見して、鵜飼のことをよく知らない他の県の人々はもちろん岐阜の人々にもその魅力をわかりやすく伝えたい！



成果物・ゴール

長良川の鵜飼の魅力がわかりやすく説明してあるパンフレットを作成して鵜飼観覧事務所や岐阜市役所、他の県の役所の観光課などに配布して役立てたい！！

これまでに、総合的な学習の時間で鵜飼に関する実態調査・意識調査などを実施してきた。その後、鵜飼について身近でない・知らない人々を中心に「長良川の鵜飼の魅力」をわかりやすく伝えようと子どもたちは本やインターネットなどを中心に調べてきている。見学時は、これまで調べてきたことを自分の目で実物を見たり、自分の耳で生の話を聞いたりすることで子どもたちがいっそう考えを深めたり、意欲を高めたりできるようにしたい。歴史博物館では、できるだけ鵜飼に関する資料を間近に見たり触れたりすることを重視する。

3 事前打ち合わせ

5月11日～10月15日までの鵜飼開催期間中に鵜飼観覧体験と歴史博物館見学をセットで見学する。
 （鵜飼観覧の前に歴史博物館で鵜飼に関する解説や見学をする）

事前に保護者に説明会を開くなど十分にねらいを伝え、野外学習の活動の一環、または放課後の教育活動として位置付け、教師の指導のもと児童と保護者を対象に実施する。

<予約について>

- ①鵜飼観覧事務所で観覧予約をする。
 - ※市教委に事前申し込みにて鵜飼観覧乗船代金の補助有
 - ※歴史博物館は原則月曜日は休館日
- ②歴史博物館担当者へ見学の相談をする。
 - ※乗船時刻が午後6時30分頃なので見学を午後4時～5時頃に依頼する。
 - ※見学の日時、学校名、児童数、引率者数、保護者数を伝える。
 - ※子どもたちの課題をもとに鵜飼のどんな内容について学習したいかを打ち合わせする。